

実務経験のある教員等による授業科目

シラバス

総合学科

総合コミックコース

授業科目		授業時数
デッサン		180
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
古田道恵 (美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
到達目標		
明暗や立体のとらえ方を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基礎デッサン	円筒形(前半 石膏 後半 植木鉢) 鉛筆の削り方 クロッキー
2	基礎デッサン	立方体(前半 白立方体 後半 立方体・ワイン瓶2)
3	基礎デッサン	球体 (前半 石膏球 後半 バスケットボール)
4	デッサン	ブロック・軟式テニスボール
5	デッサン	オイル缶・紙風船
6	石膏デッサン① クロッキー強化週間	石膏デッサン ミロのビーナスorメデチ or青年ブルータス ・アグリッパorラボルト or獅子冠女神
7	石膏デッサン① クロッキー強化週間	石膏デッサン ミロのビーナスorメデチ or青年ブルータス ・アグリッパorラボルト or獅子冠女神
8	石膏デッサン②クロッキー強化週間	石膏デッサン② ① で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)
9	石膏デッサン② クロッキー強化週間	石膏デッサン② ① で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)
10	デッサン	手二態 (構図、空間、疎と密) ・指5本の存在がわかるポーズ！
11	デッサン	自画像
12	色彩構成	16色面(色彩構成)後半→『あまい・からい』
13	色彩構成	着彩描写 [導入] 前半 : ハートランドピン 後半 : 赤リング(各自持参)
14	デッサン(人物)	着衣人物デッサン(座りポーズ) 2人交代でポーズ
15	着彩 スケッチ キャラ変	着衣人物(女性立ちポーズ) 顔スケッチ

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
形を捉えるクロッキー力や明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつける ものを見る観察力を養う。	
使用教材：	
後 期	
到達目標	
様々なモチーフの描き方を理解する	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	デッサン ハートランド瓶、リボン、レンガ
2	デッサン・着彩 前半 ビール瓶(デッサン) 後半 ビール瓶(着彩)
3	石膏デッサン③ 石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
4	石膏デッサン③ 石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
5	石膏デッサン③ 石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
6	果物or野菜2個 果物or野菜2個
7	着衣人物 午前→男性座りポーズ(鉛筆デッサン)午後→女性色々ポーズ(スケッチ) (コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用)
8	ヌードクロッキー ヌードクロッキー
9	ヌードデッサン (女性座りポーズ) ヌードデッサン (女性座りポーズ)
10	想定描写 想定描写 1m石膏球・任意の階段
11	想定描写 想定描写 1m石膏球・任意の階段
12	デッサン 花(百合の花)
13	着彩 着彩描写 ユッカ または ゴムの木
14	デッサン 特大自画像①
15	デッサン 特大自画像②

授業科目		授業時数
コミック表現技法		120
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
松村 陽子 (連載マンガ、コミック本出版などの経験から自身書き下ろしの漫画の書き方本「マンガの上達レッスン」出版などの経歴があり、ストーリーマンガを中心に幅広く活躍)		
前 期		
到達目標		
ペンテクニックの基本と漫画制作に必要な作画技能を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基本の描き方	原稿用紙・各ペン先の使い方
2	効果線①	フラッシュ・ベタフラッシュ・イナズマフラッシュ
3	効果線②	ウニフラッシュ・ベタウニフラッシュ
4	効果線③	カケアミ・ナワアミ
5	特殊技法	血しぶき・バッティング・スバッタリング・スブラッシュ
6	人物描写①基本の顔編	人物の基本的な顔の描き方。オリジナルキャラクターで
7	人物描写②基本の全身編	人物の基本的な全身の描き方。オリジナルキャラクターで
8	筆の技法・髪の描き方	髪の描き方。ツインテール・坊主頭・ツヤベタの塗り方など
9	トーン表現①	スクリーントーンの使い方。基本の切る・貼る
10	トーン表現②	スクリーントーンの使い方。基本の削る・ぼかす
11	トーン表現③	スクリーントーンで、雲・森を表現する
12	雲形定規①	基本編。定規の使い方
13	雲形定規② 夏休み前	応用編。ティーカップ・イス・建物・車の写真のアウトラインをトレース
14	背景描写・人工物編① 夏休み明け	影切り(グラデーションを利かせる)。鉛筆のみ
15	背景描写・人工物編②	四色(黒・白・薄いグレー・濃いグレー)の4つの色に分ける)。鉛筆のみ

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 実習	
授業概要	
漫画の作画に必要なテクニックの基礎を、ひと通り学ぶ。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
漫画に必要なキャラクターの描き方の基礎を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 アオリ顔 秋休み明け	ヤセ型・筋肉質型・肥満型の3種の体型を描き分ける
2 アオリ全身	アオリのついた顔を描く。練習用紙からトレース
3 フカン顔	フカンのついた顔を描く。練習用紙からトレース
4 フカン全身	フカンのついた全身を描く。練習用紙からトレース
5 年齢別描き分け	赤ちゃん・幼児・少年期・青年期・中年期・老人の描き分け
6 体型別描き分け	ヤセ型・筋肉質型・脂肪型の3種類を描く
7 手・足の描き方	特に、手先・足先・脚線を重視して描く
8 物と大きさ	人体との大きさや形をつかみ、描く
9 背景自然①	影切り(グラデーションを利かせる)。鉛筆のみ
10 背景自然②	四色(黒・白・薄いグレー・濃いグレーの4つの色に分ける)。鉛筆のみ
11 背景自然③ 冬休み前	前半…単色(黒・白のみ)。鉛筆のみ。 後半…漫画風な背景にする。ペン入れ
12 動き人物 冬休み明け	歩く・走る・スポーツをするなど、普段良く目にする動作を描く
13 服のシワ	服のシワの、特によく発生する部分のシワの形について勉強する
14 着物	現代着物・江戸時代の着物の描き方の違いなど
15 重なり合った人物 終了	ラブシーン・モブシーンなど、複数の人間が重なった時の描き方 簡単なパースの描き方。